

* 三重県薬剤師奨学金返還支援事業の対象病院として認定

薬剤部のビジョン

1. 高度先進医療・地域医療を支える 2. 医療人としてのプロフェッナリズムを醸成する 3. 未来を拓く診療・研究を推進する

三重大学病院について

設立：昭和18年12月(三重県立医学専門学校附属医院)
病院機能：特定機能病院
病床数：685床
拠点病院指定
がん診療に特徴がある
1996.2.21
1997.1.6
2007.1.31
2008.12.25
2013.2.8
2018.3.30
2019.4.1
2019.9.19



2024年4月18日撮影 薬剤部集合写真



- 入院・診療棟 2011年12月 開院
- 外来・診療棟 2015年 5月 開院

薬剤部 スタッフ構成 (2025年4月予定) 薬剤師69名

教員:教授(兼薬剤部長)1名、准教授1名、講師1名、助教1名
職員:副薬剤部長2名、薬剤主任8名、常勤(無期)37名、任期付常勤 7名
薬剤師レジデント(任期付常勤):1年次研修生6名、2年次研修生2名
非常勤薬剤師1名、事務補佐員:8名、医療安全管理部助教1名、感染制御部助教1名

研究、教育にも力を入れる体制

薬剤部が取得している研修施設認定

- 認定薬剤師制度研修認定施設(日本医療薬学会)
- がん専門薬剤師研修認定施設(日本医療薬学会)
- 薬物療法専門薬剤師研修認定施設(日本医療薬学会)
- がん薬物療法認定薬剤師研修認定施設(日本病院薬剤師会)
- 妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師研修認定施設(日本病院薬剤師会)
- 日本臨床薬理学会認定薬剤師制度研修認定施設(日本臨床薬理学会)
- 緩和医療専門薬剤師制度研修認定施設(日本緩和医療薬学会)
- がん診療病院連携研修日本臨床腫瘍薬学会
- 実務研修生受入施設(日本薬剤師研修センター)
- 薬学生実務実習受入施設(薬学教育協議会)

専門薬剤師取得にアドバンテージ



手術部サテライトファーマシー外観

自動薬剤ピッキング装置

抗がん剤調製ロボット



三重大学病院キャラクターミーベとミツビ

研究者・科学者としてのスキル

- 大学院医学系研究科 臨床薬剤学講座の研究室
- 大学院生の指導も行う(医学博士を目指す)
- 培養細胞実験、動物実験、臨床研究を実施



臨床薬剤学研究室

レジデント研修の特長

- 一般研修(2年)と地域研修(3年)を併設
- 一般研修には1年次の医療薬学一般コースと2年次の医療薬学専門コースを設置
- 一般研修には2025年度より保険薬局での在宅医療の研修を開始
- 経験豊富な専門薬剤師、指導薬剤師からの指導
- 疾患・薬物治療、薬剤業務を学び、臨床薬剤師の職能拡大を目指す
- 学会発表と論文執筆の方法を学ぶ
- レジデントにメンターを選任し、研修目標の達成に向けたアドバイスだけでなく、キャリア形成に向けた相談に対応する
- 機会があれば海外研修も実施(2016年、2017年)

待遇等(2025年4月時点): 一般研修 2年

給与等	基本給(月給):学歴・経験等を考慮して決定 大学卒(6年制):254,176円(新卒者)～※地域手当を含む、人事院勧告に基づく給与調整前 期末・勤勉手当(賞与):年2回(6月・12月)、年間4.60月分支給 ※初年度は別計算 諸手当:通勤手当、住居手当、超過勤務手当等 退職手当:要件を満たした場合に支給
雇用期間	採用日から2年間 ※期間満了後は、勤務評価等により期間の定めのない職員として雇用する場合があります
勤務時間	1日当たり7時間45分、週38時間45分勤務 ※時間外勤務あり
休暇	年次有給休暇、特別休暇(産前・産後、夏季、リフレッシュ、忌引等)、病気休暇、育児休業等
加入保険	文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険

地域研修 3年(新規)

一般研修と異なる部分を抜粋

研修内容	1年次は医療薬学一般コース、2年次、3年次は地域研修コースとし、コース毎に修了証を発行する ●医療薬学一般コース(臨床薬剤業務に必要な知識、技能を修得する) ●地域研修コース(一般コース修了後、薬剤師偏在地域の医療機関での臨床薬剤業務を経験し、地域医療に必要な基本的知識ならびに技能を修得する) ※三重県奨学金返還支援事業(在学中の5-6年生の時に貸与を受けた奨学金の返還を支援する制度)を適用
雇用期間	採用日から3年間 ※期間満了後は、勤務評価等により期間の定めのない職員として雇用する場合があります。

研修スケジュールの例

薬剤師としての実践力を身につける業務研修

医師による講義
病態の知識、処方意図を理解する

講義研修の前に実施する
チーム力を醸成する
学習領域での薬剤師の活動を知る

1年次研修

2年次研修

講義研修

セミナー研修

	セントラル研修	講義研修	セミナー研修
4月	調剤室		
5月	注射剤・製剤管理室		
6月	医薬品情報室		
7月	麻薬・手術部薬剤管理室		
8月		1か月 1疾患 (医師講義)	1か月 2疾患 (1回グループ研修)
9月			
10月	調剤室		
11月	注射剤・製剤管理室		
12月	病棟薬剤業務管理室		
1月	外来診療・TDM管理室		
2月	がん薬物療法管理室		
3月			

	病棟研修	講義研修	その他
4月	病棟1 (循環器内科、心臓血管外科、呼吸器内科、呼吸器外科等)		
5月			
6月	病棟2 (肝胆臓・移植外科、消化管外科、消化器・肝臓内科等)		
7月			
8月			
9月	病棟3 (産科婦人科、周産母子センター(NICU、MFCU))	1か月 1疾患 (医師講義)	チーム医療、研究活動等
10月			
11月			
12月	病棟4 (脳神経外科、脳神経内科、整形外科、形成外科等)		
1月			
2月			
3月			

開催日	時間	分野	タイトル
2024/6/25	18:00-19:00	心臓・血管系疾患	心不全
2024/7/23	18:00-19:00	呼吸器疾患	気管支喘息
2024/8/1	18:00-19:00	内分泌・代謝疾患	糖尿病
2024/9/18	18:00-19:00	血液疾患・腎疾患	白血病
2024/10/7	18:00-19:00	悪性腫瘍	乳癌
2024/11/26	18:00-19:00	消化器疾患	肝炎
2024/12/18	18:00-19:00	骨・関節疾患	関節リウマチ
2025/1/28	18:00-19:00	神経疾患	認知症
2025/2/4	18:00-19:00	感覚器疾患	SLE
2025/3/4	18:00-19:00	精神疾患	睡眠障害

講義研修で学ぶ疾患について、調べてきたことをグループワークにより共有	
【学習項目】 疫学・発症機序、診断、治療、興味を持った文献を紹介	第2期生 5名
【学習資源】 各種ガイドライン、書籍、文献等	
【事前学習時間】 平均10時間程度、レポート作成	
【セミナー開催頻度・時間】 1か月に1回、業務後に開催 平均2時間程度	
【指導方法】 担当教員がセミナーに加わり助言する。指導者はレポートを確認し、フィードバックする。	

学会発表 2016～2024年度

- 杉浦泰平 他、三重大学医学部附属病院における多受容体作用抗精神病薬(MARTA)の血糖モニタリング実施状況と対策 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会 2016 2016.10(岐阜)
- 菊谷由里香 他、三重大学医学部附属病院における承認等医薬品の使用にかかる現状調査 第20回 日本医薬品情報学会総会・学術大会 2017.7(東京) 薬事日報記事
- 菊谷由里香 レジデントプログラム、実感できる成果 一薬剤師レジデントの立場から 第7回 日本薬剤師レジデントフォーラム2018.3(神戸)
- 野中千絵 他、三重大学病院におけるサンシ含有製剤の処方状況と腸間膜静脈硬化症への対応状況調査 第21回日本医薬品情報学会総会・学術大会 2018.6(鈴鹿)
- 川田暁 他、降がん教室の質の向上を目指して～薬剤師の視点からみたKJ法による問題点の抽出と対応策の検討～ 第8回降がん教室ワークショップ in 柏の葉 2018.11(東京)
- 篠木優里 他、大量メトレキサート療法時の副作用発現に対するフェブキシスタット併用の影響 第27回日本医療薬学会年会 2018.11(神戸)
- 川田 暁 他、入院時持参薬鑑別業務におけるお薬手帳の活用度と問題点についての検討 第8回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3(福岡)
- 加藤千佳 他、入院時持参薬に内服降圧薬を含む患者の血圧管理に及ぼす薬剤数及び処方内容の複雑性の影響 医療薬学フォーラム2019 2019.7(広島) 優秀ポスター賞
- 白石ひろ 他、三重大学病院における禁忌薬の使用状況の把握と内容分析 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3.(東京)
- 加藤千佳 他、持参薬鑑別を契機に行われた薬学的介入事例の内容分析とその対応策の検討 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3.(東京)
- 篠木優里 他、病棟担当薬剤師によるステロイド投与患者に対する薬学的介入事例の内容分析 第9回日本薬剤師レジデントフォーラム 2019.3.(東京)
- 福井里菜 他、カフェイン大量服用患者に対して血中テオフィリン濃度を測定し経過観察した1症例 第11回日本薬剤師レジデントフォーラム 2021.11(Web)
- 水田朱梨 他、フェノバルビタール投与中の新生児に発症したアスペルギルス症に対してポリコナゾールを使用した事例 第11回日本薬剤師レジデントフォーラム 2021.11(Web)
- 森悠香梨 他、デノスマブによる低Ca血症に及ぼすルーブリ尿酸の影響に関する観察研究 第25回日本骨粗鬆症学会2023.9.(三重) 優秀演題賞
- 安富米人 他、SARS-CoV-2感染症治療薬レムデシビルの併用により血中タクロリムス濃度が上昇した生体腎移植患者の1例 第13回日本薬剤師レジデントフォーラム2024.3(千葉)
- 伊藤涼加 他、関節リウマチに対するメトレキサート使用患者における化学療法施行により発熱性好中球減少症に至った1例 第14回日本薬剤師レジデントフォーラム2025.3(三重)
- 岩田真理子 他、バクリタキセル・カルボプラチン療法施行中にてんかん発作が増悪した1症例への介入 第14回日本薬剤師レジデントフォーラム2025.3(三重)
- 岡田真奈 他、食物アレルギー患者に対する処方安全性を確保する仕組みの整備とその有用性 第14回日本薬剤師レジデントフォーラム2025.3(三重)
- 山中翔理 他、化学療法誘発性末梢神経障害に対するミロガバリンの有効性・安全性に関する後ろ向き症例集積研究 第14回日本薬剤師レジデントフォーラム2025.3(三重)

実績及び進路 2016～2024年度

1年次研修	35名	1年次研修修了者の進路	
同 修了	30名	三重大学医学部附属病院	1名
同 修了見込	2名	保険薬局	4名
		大学院	1名
2年次研修	28名	2年次研修修了(見込)者の進路	
同 修了	20名	三重大学医学部附属病院	16名
同 修了見込	4名	県外大学病院	2名
		総合病院	2名
		保険薬局	1名

第1期生が第7回日本薬剤師レジデントフォーラムシンポジウムにて発表した際の薬事日報 記事

